６月号　金沢版「はまかぜ」

連載　第30回　横浜市会議員 おばた正雄氏　横浜を語る

市会第2回定例会報告 こころの健康づくりと高齢者施策の充実

こころの健康づくりを応援します

横浜市会の第2回定例会は5月31日から6月21日まで開催され、一般議案28件と補正予算1件の合計29件が提出され、現在問題になっている心の健康づくりや高齢者福祉の充実策などを決定します。

Q．一般議案は？

A．寄付金の税額控除が受けられるNPO法人指定に向けた基準を定める条例案や、金沢区福浦の横浜ヘリポートにあるヘリコプターを高性能な機種に更新（約15億円）、横浜市こころの健康相談センターを港北区から中区に移転する条例改正などを行います。

Q．「こころの健康相談センター」とは？

A．この事業は、4大疾病の中に精神が加わり、精神保健福祉法に基づくこころの健康の保持増進や精神障害者の福祉の増進を図るため、①こころの健康相談、②福祉保健センター等への技術支援、③こころの健康や精神障害に関する普及啓発、④精神保健福祉に関する研修の実施、⑤精神保健福祉法に基づく審査判定業務、⑥精神科救急医療業務、⑦自殺対策事業の7つの主要事業を行っています。

また、こころの健康相談等延べ件数は特定相談としては、薬物アルコール、思春期ひきこもりなどがあり、技術支援を含め年間7千件を超え、毎年増加しこの事業が重要になっています。

Q．金沢区の窓口は？

A．こころの健康相談窓口は、区役所の3階の福祉保健センターです。相談は☎045(788)7848に電話でどうぞ。FAXは📠045(786)8872（月～金曜日の8時45分～17時15分）

Q．補正予算は？

A．高齢者施設整備に対する補助件数を拡充する事業などです。具体的には小規模多機能型居宅介護事業と認知症高齢者グループホーム整備事業の2つ事業の拡充を行います。

まず、小規模多機能型居宅介護事業は、高齢者が住み慣れた家や地域での生活が継続できるように、利用者の状態に応じて「通い」を中心に「泊まり」「訪問」の3サービスを組み合わせて提供する小規模多機能型居宅介護事業を促進するため、助成件数を11か所増やし25か所に拡充します。次に認知症高齢者グループホーム整備事業は、認知症高齢者が家庭的で落ち着いた雰囲気の中で共同生活を送ることにより、認知症の進行を穏やかにすることを目的としたグループホームの開設を促進するため、助成件数を5か所増やし8か所に拡充します。

Q．これらの課題は？

A．金沢区地域福祉保健推進事業を14の地区社協などでより具体化することが課題です。

ヨコハマ会　市会議員団
子どもにツケをまわさない！
“ 横浜から日本を創る ”
横浜市議 おばた正雄氏

〈プロフィール〉
金沢区生れ。旧民社党政策審議会で各種政策を研修。昭和54年より横浜市議。現在９期。ヨコハマ会市議団代表。一貫して教育・行財政改に取組。４年前民主党離党。現在、無所属。憲法改正と日本の安全に責任を持つ保守新党を模索中。神奈川の教育を良くする会会員。日本会議会員。自衛隊募集相談員。各スポーツ・文化団体顧問。

〈ご相談・ご連絡先〉
事務所：金沢区谷津町 332
TEL：045 － 783 － 7869
FAX：045 － 786 － 5315
✉ obatamasao@gmail.com